

# 平成30年度 大学等の教育研究活動等の状況に関する公表

北海道公立大学法人 札幌医科大学

## 1. 公表の対象となる教育研究活動等の状況

項 目		問い合わせ先
1-1	大学の教育研究上の目的に関すること	学務課 内線21820
1-2	教育研究上の基本組織に関すること	総務課 内線21150
1-3	教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること	総務課 内線21150
1-4	入学者に関する受入方針及び入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること	学務課 内線21820
1-5	授業科目、授業方法及び内容並びに年間授業計画に関すること	学務課 内線21820
1-6	学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること	学務課 内線21820
1-7	校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること	学務課、総務課 内線21820・ 21150
1-8	授業料、入学料その他大学が徴収する費用に関すること	学務課 内線21820
1-9	大学が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること	学務課 内線21820

## 2. 積極的に公表することとされる情報

項 目		問い合わせ先
2-1	学生が修得すべき知識及び能力に関する情報	学務課 内線21820
2-2	その他の公表事項	学務課他 内線21820

※様式中の「赤い文字」をクリックしていただくと、本学公式HP上の関係するページにリンクしております。

## 1 公表の対象となる教育研究活動等の状況

### 1-1 大学の教育研究上の目的に関すること【担当：事務局学務課】

#### ■大学

医学及び保健医療学に関する学理とその応用を教授し、その深奥を攻究するとともに、進取の精神と自由闊達な気風を旨とする創造性に富み人間性豊かな医療人の育成を行い、もって北海道の医療、保健の発展と福祉の充実に貢献し、人類の文化の進展に寄与する。

#### ■医学部

多様化する医学・医療の進歩に対応し、社会の要請に応えうる臨床能力、技術を備えた、人間性豊かな医師の育成と医学研究者となるための基礎を培うことを目的とする。

#### ■保健医療学部

関連諸科学と医療の進歩に対応し、地域の保健・医療・福祉の充実と社会の発展に貢献しうる実践力を備えた人間性豊かな看護師・保健師、理学療法士、作業療法士を育成するとともに、研究活動の基礎的な能力を培うことを目的とする。

#### ■大学院

学術の理論及び応用を教授研究し、その深奥を究めて、文化の進展に寄与する。

#### ■医学研究科修士課程・保健医療学研究科博士課程前期

広い視野に立って精深な学識を授け、専攻分野における研究能力又は高度の専門性を要する職業等に必要能力を養うことを目的とする。

#### ■医学研究科博士課程・保健医療学研究科博士課程後期

研究者として自立して研究活動を行い、又はその他の高度で専門的な業務に従事するに必要な研究能力及びその基礎となる豊かな学識を養うことを目的とする。

#### ■助産学専攻科

助産に関する高度な知識と優れた技術を教授し、その基盤となる助産学を探究するとともに、創造性に富み人間性豊かな助産師の育成を行い、もって北海道の母子保健の発展と充実に貢献する。

1-2 教育研究上の基本組織に関すること (H30.10.1現在) 【担当：事務局総務課】

学 部 ・ 学 科		大 学 院	
医学部	医学科 (学科目・講座)	医学研究科	医科学専攻 (修士課程)
	附属フロンティア医学研究所		地域医療人間総合医学専攻 (博士課程)
	教育研究機器センター		分子・器官制御医学専攻 (博士課程)
	動物実験施設部		情報伝達制御医学専攻 (博士課程)
保健医療学部	看護学科	保健医療学 研究科	看護学専攻 (博士課程前期)
	理学療法学科		看護学専攻 (博士課程後期)
	作業療法学科		理学療法学・作業療法学専攻 (博士課程前期)
			理学療法学・作業療法学専攻 (博士課程後期)
			そ の 他
助産学専攻科		アドミッションセンター	
医療人育成センター	教養教育研究部門	学生部	
	教育開発研究部門	保健管理センター	
附属病院	診療科 (29科)	国際交流部	
	中央診療部門等	附属総合情報センター	
		附属産学・地域連携センター	
		寄附講座	
		特設講座	
		事務局、標本館	

1-3 教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること (H30.10.1現在)  
【担当：事務局総務課】

○大学組織図等については、本学HPにて情報提供しております。

(1) 教員組織

学長 塚本泰司	大学院医学研究科／医学部
	医学研究科長・医学部長：三浦 哲嗣
	【所属教員の情報】
	教授： 49名 ( 2名) <57.6歳> 准教授： 38名 ( 4名) <51.4歳> 講 師： 70名 ( 7名) <46.5歳> 助 教： 160名 (33名) <40.1歳> 助 手： 2名 ( 1名) <55.0歳> <u>計： 319名 (47名) &lt;50.1歳&gt;</u>
大学院保健医療学研究科／保健医療学部	
保健医療学研究科長・保健医療学部長：大日向 輝美	
【所属教員の情報】	
教授： 18名 ( 6名) <55.3歳> 准教授： 11名 ( 8名) <49.4歳> 講 師： 13名 ( 7名) <43.6歳> 助 教： 8名 ( 4名) <39.1歳> 助 手： 6名 ( 2名) <32.5歳> <u>計： 56名 (27名) &lt;44.0歳&gt;</u>	
助産学専攻科	
助産学専攻科長：大日向 輝美	
【所属教員の情報】	
教授： 1名 ( 1名) < 一歳> 准教授： 1名 ( 1名) < 一歳> 講 師： 1名 ( 1名) < 一歳> 助 教： 2名 ( 2名) <40.5歳> 助 手： 1名 ( 1名) < 一歳> <u>計： 6名 ( 6名) &lt;40.5歳&gt;</u>	

医療人育成センター	
医療人育成センター長：相馬 仁	
【所属教員の情報】	
教授：	5名（ 1名）＜57.4歳＞
准教授：	11名（ 1名）＜53.3歳＞
講師：	5名（ 1名）＜45.6歳＞
計：	21名（ 3名）＜52.1歳＞

附属総合情報センター	
附属総合情報センター長：長峯 隆	

※＜＞内は平均年齢  
※（ ）の数は女性で内数

(2) 教員数

区 分		教授	准教授	講師	助教	助手	計
医学部	医学科（学科目・講座）	43 (2)	35 (4)	64 (6)	155 (31)	1	298 (43)
	附属フロンティア医学研究所	6	3	5 (1)	5 (2)	1 (1)	20 (4)
	教育研究機器センター						0 (0)
	動物実験施設部			1			1 (0)
小 計		49 (2)	38 (4)	70 (7)	160 (33)	2 (1)	319 (47)
保健医療学部	看護学科	7 (5)	6 (5)	8 (7)	3 (3)	4 (2)	28 (22)
	理学療法学科	5	2	2	4 (1)	1	14 (1)
	作業療法学科	6 (1)	3 (3)	3	1	1	14 (4)
小 計		18 (6)	11 (8)	13 (7)	8 (4)	6 (2)	56 (27)
助産学専攻科		1 (1)	1 (1)	1 (1)	2 (2)	1 (1)	6 (6)
小 計		1 (1)	1 (1)	1 (1)	2 (2)	1 (1)	6 (6)
医療人育成センター	教養教育研究部門	4 (1)	10 (1)	3			17 (2)
	教育開発研究部門	1	1	2 (1)			4 (1)
小 計		5 (1)	11 (1)	5 (1)	0 (0)	0 (0)	21 (3)
合 計		73 (10)	61 (14)	89 (16)	170 (39)	9 (4)	402 (83)

※（ ）の数は女性で内数

区 分		教授	准教授	講師	助教	助手	計
大学附属機関等	アドミッションセンター			2			2
	附属総合情報センター						0
	附属産学・地域連携センター						0
	寄附講座						0
	特設講座						0
小 計		0 (0)	0 (0)	2 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (0)

※教員数は、学長、特任教員、客員教員、語学講師及び非常勤講師を除く。 ※（ ）の数は女性で内数

(3) 研究休暇制度の利用に関する情報

■研究休暇制度の名称：「札幌医科大学における教員のサバティカル研修」

＜制度の内容＞

教員の教育や研究活動等をより一層活性化することを目的とする任期制の導入に伴い、平成20年4月1日から導入されたもので、教育研究の遂行に必要な知識及び能力の向上のため、自らが研究目標を定めて一定の期間にわたり研究に専念することができる制度。

＜平成29年度の制度利用状況＞

利用者0名（医学部教員）

(4) 教員の学位及び業績

○本学公式HPにて公表している「研究者データベース」で情報提供しています。

1-4 入学者に関する受入方針及び入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は終了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関する事【担当：事務局学務課】

(1) 入学者に関する受入方針

■建学の精神

- 一、進取の精神と自由闊達な気風
- 一、医学・医療の攻究と地域医療への貢献

■理念

- 最高レベルの医科大学を目指します
- 人間性豊かな医療人の育成に努めます
- 道民の皆様に対する医療サービスの向上に邁進します
- 国際的・先端的な研究を進めます

■アドミッションポリシー

医学部は、北海道民の健康と医療を守り、地域に貢献できる医師及び国際的・先端的の研究を通じて世界に貢献できる研究医を育てます。そのため、次のような資質を有する学生を求めます。

- 1 命を尊ぶ心を持ち、病める人を救う情熱のある人
- 2 周りの人への思いやりと奉仕の心、倫理観を持っている人
- 3 良心と社会規範に従い、良識ある行動ができる人
- 4 医師・研究医となるにふさわしいコミュニケーション能力、協調性及び想像力を持っている人
- 5 地域社会への興味・関心を持ち、北海道に貢献する医師を持つ人
- 6 国際的視野で考え行動し、科学的探究心と想像力を持って学習に取り組める人

保健医療学部は、人々が健康に暮らせる社会の実現をめざして、様々な立場や役割を担う他者との連携・協働のもとに地域の保健・医療・福祉の充実と発展のため、主体的に貢献できる看護師・保健師、理学療法士、作業療法士を育成します。そのため、次のような資質を有する学生を求めます。

- 1 将来は、看護師・保健師、理学療法士、作業療法士として人々の健康と生活を支える役割を担いたいと考えている人
- 2 地域社会への興味・関心を持ち、北海道の保健・医療・福祉に貢献する意志のある人
- 3 良心と社会規範にしたがい、良識ある行動ができる人
- 4 人々との交流を大切にし、常に温かな配慮をもって他者と接することのできる人
- 5 広く社会に目を向け、知的探求心をもって柔軟な発想で物ごとをとらえることのできる人
- 6 人々や社会とのかかわりを通して自らの成長を願い、粘り強く物ごとに取り組むことのできる人

医学研究科では、将来、医学研究者となるべき人として、次のような資質を持った人を求めます。

- 1 知的な好奇心、科学的探求心、創造性に富む人
- 2 高度な知識・技術の修得に励み、さらに応用・発展に意欲を持つ人
- 3 高い倫理観を備え、医学の分野で活躍する意思を持つ人
- 4 国際的な視野を持ち、社会や科学の問題にあたる気概のある人

保健医療学研究科では、看護学・理学療法学・作業療法学の発展と、保健・医療・福祉の質の向上に寄与する高度な専門的知識、実践能力、研究能力を備えた実践者、研究者の育成を目指しています。そのため、以下のような人材を求めます。

博士課程前期

- 1 保健・医療・福祉の諸課題に深い関心を持ち、その発展と問題解決に関わることを自己の目標としている人
- 2 看護学・理学療法学・作業療法学に関する専門的な知識と技術を備え、批判的・論理的思考力を有している人
- 3 多様化・複雑化する人々のニーズに応えるため、専門分野における卓越した実践能力を獲得したいと願っている人
- 4 豊かな人間性と倫理性を有し、地域の保健・医療・福祉に貢献する意思のある人
- 5 研究成果を発信することにより、保健・医療・福祉の充実と発展に貢献する意思のある人

博士課程後期

- 1 保健・医療・福祉の諸課題に広く深い関心を持ち、その発展と問題解決に関わることを自己の目標としている人
- 2 看護学・理学療法学・作業療法学に関する専門的な学識、批判的・論理的思考力と科学的探求心を備え、新たな知の創造に意欲を有する人
- 3 豊かな人間性と倫理性を有し、国際的な視座で人々の健康に貢献する意思のある人
- 4 研究成果を国内外に広く発信することにより、保健・医療・福祉の発展に貢献するとともに、科学の発展に寄与したいと願う人

助産学専攻科は、助産に関する高度な知識と優れた技術を教授し、この基盤となる助産学を探究するとともに、創造性に富み人間性豊かな助産師の育成を行い、北海道の母子保健の発展と充実に貢献することを目的としています。そのため、次のような資質を有する学生を求めます。

- 1 人間の尊厳と生命の尊重を基盤に、生と死に真摯に向き合い、寄り添うことのできる人
- 2 社会を構成する全ての人々に敬意を払い、人と人との相互関係を大切にすることのできる人
- 3 看護学に関する知識・技術の基礎・基本を高いレベルで備え、助産学を主体的に学び追求する姿勢を有している人
- 4 北海道の母子保健に深い興味・関心を持ち、自らの助産実践を通して諸課題を解決したいと考えている人
- 5 異なる文化や価値観を尊重し、広い視野をもって物事を見つめ、社会への貢献を通して自らも成長しようとする人

(2) 入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は終了した者の数など  
 ( ) の数は女性で内数

区 分		受験者数	合格者数	入学者数	転編入学	在学者数	中退率	《編入学定員》 収容定員	卒業者数		
									計	うち就職者数	うち進学者数
医学部	医学科	458	110	110 (38)	0	667 (211)	0.3%	660《0》	109 (32)	0 (0)	0 (0)
保健医療学部	看護学科	99	50	50 (47)	0	200 (185)	1.5%	200《0》	49 (46)	45 (42)	4 (4)
	理学療法学科	35	20	20 (13)	0	81 (31)	1.2%	80《0》	17 (8)	11 (6)	4 (0)
	作業療法学科	33	20	20 (8)	0	81 (59)	2.4%	80《0》	20 (11)	19 (11)	0 (0)
医学研究科	修士課程	13	7	7 (5)	0	15 (10)	0.0%	20《0》	3 (1)	2 (1)	1 (0)
	博士課程	38	30	30 (8)	0	149 (26)	3.2%	200《0》	51 (9)	51 (9)	0 (0)
保健医療学 研究科	看護学専攻 博士課程前期	14	7	7 (5)	0	20 (17)	0.0%	24《0》	6 (6)	5 (5)	0 (0)
	看護学専攻 博士課程後期	0	0	0 (0)	0	7 (6)	0.0%	6《0》	1 (1)	1 (1)	0 (0)
	理学療法学・作業療法学専攻 博士課程前期	11	7	7 (0)	0	22 (4)	0.0%	24《0》	11 (2)	7 (1)	3 (1)
	理学療法学・作業療法学専攻 博士課程後期	5	4	4 (1)	0	21 (4)	0.0%	18《0》	0 (0)	0 (0)	0 (0)
助産学専攻科		65	20	19 (19)	0	19 (19)	0.0%	20《0》	18 (18)	18 (18)	0 (0)

※平成30年5月1日現在

※受験者数、合格者数及び入学者数は平成29年度で、合格者数には追加合格者を含む

※中退率及び卒業者数は、平成28年度実績

※中退率には除籍者も含む

(3) その他進学及び就職等の状況に関すること

医学部卒業生は、2年間の臨床研修が義務づけられており、就職者は0名としたところ。

(4) 国家試験の合格率の状況

■医学部医学科～医師国家試験

区 分	平成30年	平成29年	平成28年	平成27年	平成26年	平成25年
全 体	90.1 %	88.7 %	91.5 %	91.2 %	90.6 %	89.8 %
札幌医科大学	93.3 %	91.7 %	96.2 %	95.4 %	95.5 %	92.6 %
国立大学	91.2 %	90.7 %	91.7 %	91.8 %	91.5 %	90.7 %
公立大学	93.3 %	91.1 %	95.4 %	95.1 %	95.5 %	94.0 %
私立大学	90.2 %	86.5 %	91.6 %	90.6 %	89.7 %	88.9 %

■保健医療学部看護学科

・看護師国家試験

区 分	平成30年	平成29年	平成28年	平成27年	平成26年	平成25年
全 体	91.0 %	88.5 %	89.4 %	90.0 %	89.8 %	88.8 %
札幌医科大学	100.0 %	100.0 %	100.0 %	100.0 %	100.0 %	100.0 %
国立大学	－ %	－ %	－ %	－ %	－ %	－ %
公立大学	－ %	－ %	－ %	－ %	－ %	－ %
私立大学	－ %	－ %	－ %	－ %	－ %	－ %

・保健師国家試験

区 分	平成30年	平成29年	平成28年	平成27年	平成26年	平成25年
全 体	81.4 %	90.8 %	89.8 %	99.4 %	86.5 %	96.0 %
札幌医科大学	90.9 %	100.0 %	100.0 %	100.0 %	100.0 %	100.0 %
国立大学	－ %	－ %	－ %	－ %	－ %	－ %
公立大学	－ %	－ %	－ %	－ %	－ %	－ %
私立大学	－ %	－ %	－ %	－ %	－ %	－ %

■保健医療学部理学療法学科～理学療法士国家試験

区 分	平成30年	平成29年	平成28年	平成27年	平成26年	平成25年
全 体	81.4 %	90.3 %	74.1 %	82.7 %	83.7 %	88.6 %
札幌医科大学	100.0 %	100.0 %	100.0 %	95.0 %	95.0 %	100.0 %
国立大学	－ %	－ %	－ %	－ %	－ %	－ %
公立大学	－ %	－ %	－ %	－ %	－ %	－ %
私立大学	－ %	－ %	－ %	－ %	－ %	－ %

■保健医療学部作業療法学科～作業療法士国家試験

区 分	平成30年	平成29年	平成28年	平成27年	平成26年	平成25年
全 体	76.2 %	83.7 %	87.6 %	77.5 %	86.6 %	77.3 %
札幌医科大学	95.0 %	100.0 %	94.1 %	100.0 %	100.0 %	100.0 %
国立大学	－ %	－ %	－ %	－ %	－ %	－ %
公立大学	－ %	－ %	－ %	－ %	－ %	－ %
私立大学	－ %	－ %	－ %	－ %	－ %	－ %

■助産学専攻科～助産師国家試験

区 分	平成30年	平成29年	平成28年	平成27年	平成26年	平成25年
全 体	98.7 %	93.0 %	99.8 %	99.9 %	96.9 %	98.1 %
札幌医科大学	100.0 %	100.0 %	100.0 %	100.0 %	100.0 %	100.0 %
国立大学	－ %	－ %	－ %	－ %	－ %	－ %
公立大学	－ %	－ %	－ %	－ %	－ %	－ %
私立大学	－ %	－ %	－ %	－ %	－ %	－ %



**1-5 授業科目、授業方法及び内容並びに年間授業計画に関する事【担当：事務局学務課】**

■各学部（学科）のカリキュラムについては、本学公式HPにて情報提供しております。

- [医学部](#)
- [保健医療学部\(看護学科\)](#)
- [保健医療学部\(理学療法学科\)](#)
- [保健医療学部\(作業療法学科\)](#)
- [札幌医科大学教育ポリシー](#)

**1-6 学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関する事【担当：事務局学務課】**

教育課程については、上記1-5に記載しているとおりです。

また、評価及び卒業等の認定基準等の以下の規程は、「参考」としてあわせて公表しております。

- 医学部の教育課程、授業科目履修方法、試験及び進級取扱いに関する規程
- 保健医療学部の教育課程、授業科目の履修方法並びに試験及び進級の取扱い等に関する規程
- 大学院医学研究科授業科目履修方法及び単位修得認定等に関する規程
- 大学院保健医療学研究科授業科目履修方法及び単位修得認定等に関する規程
- 学位規程
- 学位論文審査規程

**1-7 校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関する事【担当：事務局学務課他】**

本学公式HPにて施設等の写真を公開しております。

- [附属総合情報センター図書館、コンピューター実習室、グラウンド及び体育館等](#)
- [学生便覧\(学生生活の手引き、附属施設の利用案内等\)](#)
- [キャンパスマップ・アクセス方法](#)

1 校地、校舎、講義室・演習室等の面積

校地面積(m <sup>2</sup> )	設置基準上必要校地面積(m <sup>2</sup> )	校舎面積(m <sup>2</sup> )	設置基準上必要校舎面積(m <sup>2</sup> )	講義室・演習室・学生自習室総数	講義室・演習室・学生自習室総面積(m <sup>2</sup> )
104,454	18,156.1	62,093	21,390	64	6,570

2 主要施設の概況

施設名	用途	建築年	延べ床面積(m <sup>2</sup> )
東棟	演習室、研究室、動物実験施設	昭和45年	7,938.43
本部棟	事務室、講義室、動物実験施設	昭和46年	1,925.36
体育施設及びリハビリ実習施設	屋内運動場、実習室	平成26年	3,252.71
保健医療学研究棟	研究室、講義室、実習室	昭和57年	11,033.61
基礎医学研究棟	研究室、実験室	平成11年	20,553.53
臨床教育研究棟	研究室、実験室	昭和61年	14,790.33
教育研究棟 I	講義室、実習室、実験室、研究室	平成29年	18,679.09

1-8 授業料、入学料その他大学が徴収する費用に関すること【担当：事務局学務課】

本学公式HPにて情報提供しております。

**○学生便覧(授業料納入・減免、奨学生制度)**

■入学前に必要な費用

区分	医学部	保健医療学部	医学研究科	保健医療学研究科	助産学専攻科
入学検定料	17,000 円 (出願期間中に納付)	17,000 円 (出願期間中に納付)	30,000 円 (出願期間中に納付)	30,000 円 (出願期間中に納付)	18,000 円 (出願期間中に納付)
入学時納付金	749,900 円 【内訳】 ・ 入学金 282,000 円 ・ 入学時半期授業料 267,900 円 ・ 後援会費 200,000 円 ・ 教科書代 約 50,000 円 ※教科書代は合計に含まず。	649,900 円 【内訳】 ・ 入学金 282,000 円 ・ 入学時半期授業料 267,900 円 ・ 後援会費 100,000 円 ・ 教科書代 約 100,000 円 ※教科書代は合計に含まず。	549,900 円 【内訳】 ・ 入学金 282,000 円 ・ 入学時半期授業料 267,900 円	549,900 円 【内訳】 ・ 入学金 282,000 円 ・ 入学時半期授業料 267,900 円	437,100 円 【内訳】 ・ 入学金 169,200 円 ・ 入学時半期授業料 267,900 円

■在学時に必要な費用

区分	医学部	保健医療学部	医学研究科	保健医療学研究科	助産学専攻科
授業料 ※2期に分納	535,800 円 前期：4月末日 後期：10月末日 【内訳】 ・ 授業料 535,800 円 ・ その他 円	535,800 円 前期：4月末日 後期：10月末日 【内訳】 ・ 授業料 535,800 円 ・ その他 円	535,800 円 前期：4月末日 後期：10月末日 【内訳】 ・ 授業料 535,800 円 ・ その他 円	535,800 円 前期：4月末日 後期：10月末日 【内訳】 ・ 授業料 535,800 円 ・ その他 円	535,800 円 前期：4月末日 後期：10月末日 【内訳】 ・ 授業料 535,800 円 ・ その他 円

※実習等に係る宿泊代及び交通費などはその都度実費負担。

■学生寮(入寮した場合)

名称	所在地	収容人員	設備等
望嶽寮	札幌市中央区南6条西18丁目1番5号	50名	鉄筋コンクリート 3階建 居室：25室(1室2名) 1室19.27㎡(5.8坪)
寮費	年額：181,200円(食費、光熱費別)		バット、机、椅子、クローゼット付き

## 1-9 大学が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること【担当：事務局学務課】

### ■学生の修学支援

#### 【学生担当教員制度（医学部・保健医療学部）】

各学科・学年に学生担当教員を配置し、学生生活全般に関して指導・助言・確認等を行うことで、学生の修学をサポートする制度。

#### 【学生グループ制（医学部）】

「学生の変化や悩みの早期発見と親身な対応」、「将来の方向性や疑問に対するアドバイス」、「学生からの意見や要望の汲み上げ」を目的として実施している。

第1～6学年の全ての学年の学生で構成された11～12名のグループを編成し、1つのグループを主・副2名のアドバイザー教員が担当している。年1回（5月頃）、グループ毎に「キックオフミーティング」を開催しており、4年生が中心となって面談内容を企画し、学生とアドバイザー教員が集まって面談を行っている。

#### 【学生支援に関する調査（保健医療学部）】

学生の生活状況を把握し、学生支援体制等を検証するための基礎資料とすることを目的として「学生支援に関する調査」を実施している。調査結果に基づき、学生の実態等に応じた学生支援の充実に取り組んでいる。

#### 【学生支援会議の開催】

学生委員会委員及び学生担当教員が、学生の要望等を集約し、学習環境の充実に向け学生とともに検討する「学生支援会議」を平成26年度から開催している（学生からの要望により、毎年度11月に開催）。

### ■学生生活の支援

・授業料減免制度、札幌医科大学小野和子奨学金、日本学生支援機構奨学金等の制度がある。（学生便覧33～37ページに記載。）

・学生生活及び実習中の事故や怪我、感染事故等の治療費や、損害補償責任を負った場合の補償等に対応する保険・補償制度へ加入している。（学生便覧41、42ページに記載。）

・「学生支援ハンドブック」にて、各種学生支援制度や相談窓口、学生生活の注意点等を周知している。

### ■進路選択に関する支援

#### 【医学部】

医学部及びアドミッションセンター、学生部、医療人育成センターの教員が一体となって、「特別枠」「北海道医療枠」入学者をはじめ、全ての医学部学生のキャリア形成支援のために「医学部学生キャリア形成支援委員会」を設置している。委員会においては、入試枠別オリエンテーションの他、道内各地域で活躍中の卒業生による後援会の開催、冊子「札幌医科大学：北海道の医療を担う医師育成プログラム」の発行、「特別枠」学生のための北海道との調整等、学生のキャリアプランに関わる様々な情報発信とサポートを実施している。

#### 【保健医療学部】

少人数制を生かし、学部教員全員が進路相談に当たり、きめ細やかな支援を行っている。求人情報を綴りにまとめエントランススペースで閲覧に供しており、特に道内求人情報については、求人先、求人数などを掲示している。

### ■心身の健康に関する支援

学生の健康管理に関する業務を専門的に担当する保健管理センターに、保健室及び健康相談室を設置し、保健師、看護師及びカウンセラーを配置している。（学生便覧39、40ページに記載。）

### ■留学生に関する支援

留学生に対し、日本人学生と同様に授業料減免制度がある。特別に実施している制度は無い。（学生便覧33ページに記載。）

### ■障がい者に関する支援

#### 【身体の障害を有する学生に関する委員会】

身体の障害を有する者の修学上の配慮について検討する委員会を設置している。

## 2 積極的に公表することとされる情報

### 2-1 学生が修得すべき知識及び能力に関する情報【担当：事務局学務課】

■どのような知識及び能力を身につけることが期待されているか

〈医学部ディプロマポリシー〉

医学部では、所定の単位を修得し、以下の要件を修得した学生に学位を授与します。

1. 倫理観・社会的責任、プロフェッショナリズムに関する内容（態度）

高い倫理観・責任感を備え、医療者として強い使命感をもって、患者の立場になって行動するとともに、研究マインドをもって医学の進歩に貢献できるようになる。

2. 地域医療、研究、国際貢献に関する内容（関心・意欲）

幅広い視野をもって積極的に地域医療を担う意欲を育み、先駆的研究に関心をもって国際的な医学の発展に貢献する。

3. 基本的医学知識と基本的技術、コミュニケーション能力に関する内容（知識・技能）

基本的な医学知識と技術を習得し、協調性と指導力をもってチーム医療を実践することができる。

4. 問題解決・課題探求能力に関する内容（思考・判断）

現状に潜む問題点を課題として提起することができ、科学的根拠および適確な方法に基づく論理的思考を通して自ら解決する能力を身につける。

〈保健医療学部ディプロマポリシー〉

保健医療学部は、学部の共通方針のもとに各学科が定める所定の単位を修得し、将来の地域医療を担う看護師・保健師、理学療法士、作業療法士に求められる専門性と実践力を兼ね備えた、以下の能力を有する学生に学位を授与します。

1. 建学の精神を実現するための基盤となる能力

- ・人権・人格・個性を尊重する能力
- ・自然や社会の様々な現象を多角的にとらえ、論理的に思考する能力
- ・国際的視野に立ち社会的な諸課題を見つめ、主体的に物ごとに参画する能力
- ・私たちが暮らす社会の保健・医療・福祉の改善を志向し、行動する能力

2. 保健・医療・福祉の実践を担う専門職としての能力

- ・看護師・保健師・理学療法士・作業療法士それぞれの専門領域に求められる体系的な知識と技術
- ・対人関係を築き、発展させるためのコミュニケーション能力
- ・専門領域における課題を明確化し、科学的な思考に基づいて問題解決する能力
- ・保健・医療・福祉にかかわる様々な人々と連携・協働する能力

### 2-2 その他の公表事項【担当：事務局学務課他】

■特色ある取り組み ※それぞれ本学公式HP上からご覧いただけます。

項 目	取 組 の 内 容
特色ある取り組み	○多様な新ニーズに対応する「がん専門医療人材(がんプロフェッショナル)」育成プラン(研究支援課)
	○未来医療研究人材養成拠点形成事業(病院課・学務課)
	○橋渡し研究支援推進(研究支援課)
自己点検・評価結果の概要	○H29年度受審(経営企画課)